

平成26年度 病院事業庁長マネジメントシート(最終実績)

病院名	三重県病院事業庁												
ビジョン	県立病院として良質な医療を安定的・継続的に提供することで、医療の面から県民と地域の安全・安心を支援します。また、医療従事者にとって魅力のある病院づくりを進めます。												
経営方針	県立病院としての役割や求められるニーズに応じた医療を提供するとともに、病院の健全経営を進めます。また、医師・看護師等の人材確保・定着を図るとともに、病院機能の充実、業務改善等に取り組みます。さらに、風とおしの良い職場、思いを共有し、共に実践する組織を目指します。												
区分	経営シナリオ	目標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標	H25 実績値	H26 目標値	H26 実績値	アクションプラン	業績評価	次年度への取組			
顧客の 視点	<p>安定的、継続的な医療の提供</p> <p>地域や県民ニーズに応じた医療の提供</p> <p>良質で安全・安心な医療の提供</p> <p>患者満足度の高い医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ●精神科専門医療の提供 ●家庭医療の実践 ●地域に必要な医療体制の整備 ●地域の医療機関等との連携・協力 	安定的・継続的な医療の提供	患者満足度の向上	患者満足度	71.3%	83.5%	75.0%	・患者アンケートの分析、改善活動 ・医療機関、県民等を対象とした研究会、講演会、セミナー、病院祭等地域医療の水準向上、開かれた病院運営等の積極的な実施	・患者アンケートについては、目標を達成できなかったものの、前年度実績を上回った。(対前年度比+3.7)	・患者満足度の向上を図るため、アンケートの分析及びそれに基づく改善活動を進めるとともに、アンケートの実施方法等についても検討していく必要がある。			
			東立病院の役割・機能の提供	精神科医療に係る訪問看護件数 家庭医療等外来患者数	3,751件 105.4人/日	4,550件 109人/日	4,537件 104.7人/日	・この医療センターにおける病院機能の再編による外来機能等の充実や一志病院における家庭医を中心とした地域医療の取組実践等	・この医療センターについては、訪問看護件数及び外来患者数が増加(H25年度253.0人→H26年度260.1人)し、概ね目標を達成することができた。	・この医療センターについては、訪問看護等のアウトリーチサービスや作業療法、デイケアといった日中活動支援を充実させていく必要がある。			
			救急医療の充実	救急患者受入数	1,286人/年	1,220人/年	1,394人/年	・救急医療の提供体制の充実	・一志病院については、目標を達成できなかったものの、予防医療受診者の増加(H25年度1,196人→H26年度1,300人)が図られた。	・一志病院については、家庭医を中心とした全人的な医療サービスの安定的な提供に努める必要がある。			
			地域医療支援機能の充実	紹介患者数	1,716人/年	1,747人/年	1,653人/年	・病病、病診連携等地域連携の推進 ・地域の医療機関や大学、関係機関等との連携・協力関係の強化	・紹介患者数については、目標を達成できず、また、前年度実績を下回った。(対前年度比96%)	・引き続き、医療機関を訪問するなど、連携・協力関係の推進していく必要がある。			
			医療事故の防止	医療過誤数	0件/年	0件/年	0件/年	・事故防止のための取組強化	・引き続き、指定管理者と連携して、救急受入態勢の拡充など、診療体制の回復・充実を図っていく必要がある。	・引き続き、指定管理者と連携して、救急受入態勢の拡充など、診療体制の回復・充実を図っていく必要がある。			
			志摩地域における医療提供体制の整備	志摩病院における入院・外来・救急患者数	206.0人/日 301.9人/日 4,568人/年	220.0人/日 312.4人/日 4,745人/年	205.7人/日 307.9人/日 5,045人/年	・指定管理者による柔軟かつ迅速な運営のもと、診療体制の回復を図るとともに、地域のニーズに応じた医療を提供	・稼働病床数の増床、救急受入態勢の拡充など診療体制を充実し、一般病床の入院患者数、救急患者数が増加した。	・引き続き、指定管理者と連携して、救急受入態勢の拡充など、診療体制の回復・充実を図っていく必要がある。			
			財務の 視点	県立病院の健全経営	県立病院の健全経営	経常収支均衡 資金収支均衡	経常収支比率 職員給与と費対医療収益率	100.7% 94.9%	104.4% 89.4%	102.1% 95.9%	・年度計画(こころ、一志)の進捗管理 ・2病院の医療収支比率の改善 ・稼働病床数の回復	・経常収支比率については、目標を達成できなかったものの、前年度に引き続き黒字を確保することができた。	・引き続き、病院事業庁経営会議等を通じて、各病院の経営状況や現状の取組等の情報共有を図り、また、進捗管理を行っていく必要がある。
						職員給与と費対医療収益率 病床稼働率の向上	職員給与と費対医療収益率 病床稼働率	94.9% 84.1%	89.4% 88.8%	95.9% 80.0%			
						医療スタッフの確保	医師充足率 看護師充足率	84.8% 104.8%	90.0% 100.0%	78.2% 100.0%	・医師確保(県医療対策局との連携、大学等への医師派遣要請、公募等) ・勤務医にとって魅力や働きがいのある職場環境づくり(医師の研修環境の充実、学会等への参加の柔軟化や良好な住環境の確保等) ・看護師の確保・定着のための修学資金制度の周知・活用、看護実習や新人看護師への技術支援体制の充実等	・三重大学等への医師派遣の要請を継続的に行ったものの、目標を達成できず、また、前年度実績を下回った。(対前年度比△6.6)	・引き続き、三重大学等への医師派遣の要請を継続しながら、勤務医にとって魅力のある病院づくりを進めていく必要がある。
						業務改善の推進	後期研修医受入人数 看護学生等受入人数	7人 2,093人/年	4人 2,220人/年	4人 2,100人/年	・後期研修医の受入体制の確立 ・看護学生を対象とした看護実習の充実 ・研修指導医、看護実習指導者等の育成	・指導医を確保し、後期研修医を受入れることができた。	・引き続き、大学等の養成機関への積極的な訪問を行うなど看護師の確保に向けて取り組むとともに、看護師にとって魅力のある病院づくりを進めていく必要がある。
内部プロセスの 視点	<p>医師・看護師など医療スタッフの確保・定着</p> <p>病院機能の充実、業務改善、革新</p> <p>危機管理の推進とコンプライアンスの確立</p>	業務改善の推進	改善活動の定着	業務改善取組テーマ数	3件	2件	2件	・未収金対策、診療報酬対策の2つをテーマに掲げ、業務改善活動の定着・推進	・未収金については、担当者会議を定期的に開催し、診療報酬については、新たな加算を取得することができた。	・引き続き、病院事業庁職員と病院職員が連携して、業務改善活動を定着・推進していく必要がある。			
			危機管理の推進とコンプライアンスの確立	災害医療体制の構築 リスクマネジメントの確立実践 コンプライアンスの確立実践	災害時の医療支援訓練実施回数 医療安全委員会の開催回数 研修会等の実施	2回/年 24回 3回	2回/年 24回 3回	2回/年 24回 3回	・医療事故や自然災害などを想定した図上訓練の実施等 ・医療安全対策・感染対策の充実、マニュアルの適切な運用・不断の見直し・検討 ・コンプライアンスの確立に向けた取組の実施等	・図上訓練等を計画的に実施することができた。	・引き続き、各種研修会等を計画的に実施し、危機管理の推進とコンプライアンスの確立を図っていく必要がある。		
			指定管理者制度導入後の進捗管理	指定管理者による診療体制の充実 管理運営協議会の開催	2回	2回	2回	・指定管理者制度導入後の連携・調整に係る体制づくり	・志摩病院管理運営協議会を開催し、診療体制の回復・充実に向けた意見交換を行い、対策について実施を求めた。	・地域の中核病院としての役割・機能を担っていくため、引き続き、診療体制の一層の回復が図られるよう指導監督等に努めていく。			
			風とおしの良い職場づくり	職員満足度の向上 コミュニケーションの向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的回答割合 庁長フリートークの開催	- 3回	65.0% 3回	62.7% 3回	・「明るく(A)、楽しく(T)、前向きに(M)、そして自身の健康と家族を大切に」をモットーに明るく風通しのよい職場づくりの推進 ・ワークライフ・マネジメントシート等を活用した対話の実施 ・職員間のコミュニケーションを重視して思いを伝えあい、共有し、共に実践する組織づくり	・職員満足度が向上するよう、明るく風通しのよい職場づくりや、休暇取得を促進するなどワークライフ・マネジメントを推進した。	・引き続き、職員満足度の向上が図られるよう、明るく風通しのよい職場づくりやワークライフ・マネジメントの推進に努めていく。		
学習と成長の 視点	<p>風とおしの良い職場づくり</p> <p>チーム力を最大にするコミュニケーションの向上</p> <p>一人ひとりの職員の専門能力の向上</p>	一人ひとりの職員の力を伸ばす専門能力の向上	専門能力の向上(スキルアップ)	職員アンケート「プロとして成長しているか」の設問での肯定的回答割合	-	60.0%	66.0%	・研究・研修環境の整備・充実、研究発表の推進(専門分野での資格取得のための支援、研修体系の整備、研修機会の確保と活かせる環境の整備、研究研修費の確保、等)	・研修への参加を促進するなど、職員の専門性・意識の向上に取り組んだ。	・引き続き、職員の専門性を向上し、維持していくために、職員の意識を高めながら、有効な研修の機会を拡充していく必要がある。			
			職員の危機管理意識の向上	医療安全研修等研修参加率	87.2%	87.0%	84.7%	・医療安全研修会等の開催	・多くの職員が参加できるよう、研修会を複数回開催したものの、目標を達成できず、また、前年度実績を下回った。(対前年度比△2.5)	・引き続き、多くの職員が参加できるよう、職員のシフトに配慮して研修会を開催する必要がある。			